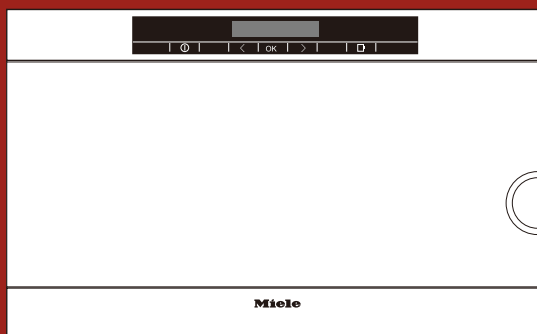


スチームクッカー DG 3460 設置・施工手順書

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置・施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガのおそれがあります。
据付工事は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。



DG 3460

設置される際のお願い

- 本製品は、おおよそ20Aを消費するため、総電気容量を60A以上にすることをお勧めします。
- 設置の際、キャビネットやワークトップを傷つけないよう、当て布をご用意ください。また、鋭利部でけがをしないよう、必ず手袋を使用してください。
- ガス機器から入れ替えられる場合は、必ずガス事業者へ事前にご連絡ください。ガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。閉栓もガス事業者へご依頼願います。
- 設置後、必ず6ページの「設置後のチェックリスト」に従って確認と試運転を行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。(水滴を拭きとるふきんをご用意ください。)

ミーレ・ジャパン株式会社

お問い合わせは…

ミーレ・コンタクトセンター

☎ 0120-310-647 (通話無料)

■営業時間 月～金 9:00～17:30 (土日・祝祭日休業)

安全上のご注意

本手順書では、次のマークの箇所で人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



実行しなければ
ならない内容です。

設置・施工は、「本手順書」に従って確実に行う。
(設置に不備があると、漏電・火災の恐れ)

電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う。

アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う。
(接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の恐れ)

アースを確実に取り付ける。
(漏電すると、感電の恐れ)

水滴がかかる場所には設置しないでください。

湿気の少ない、じゅうぶん換気のできる所に設置してください。

地下室、土間、コンクリート床、醸造・貯蔵所などには設置しないでください。

電源プラグの刃、刃の取り付け面に付着したほこりを拭き取ってからコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。



してはいけない
内容です。

絶対に分解・修理・改造は行わない。
(火災・感電・けがの恐れ)

※決して行ってはならない分解・接続の一例
(・トッププレートや操作部ユニットの分解)
(・電源コードの直付けなど)

水、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しない。(火災・故障の原因)

トッププレートに衝撃を加えない。
上に乗ったり、物を落とさない。
(万一ひびが入ったり割れた場合、過熱・異常動作・感電の恐れ)

電源コードや電源プラグを排気口や温度の高い所に近づけない。
(火災・感電の恐れ)



ワークトップは、耐熱材料のものを使う。
→メラミン化粧板(JIS K 6903)、または、これと同等以上の材料を使ってください。
(耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因)

※表面がニス引きのものは変色する恐れがあるので、使用しないでください。

1 電源工事

専用回路の設置

■ブレーカー付単相200V・20Aの専用回路（アース付）

●推奨コンセント

[露出型] パナソニック	WKS294		相当品
[埋込型] パナソニック (コンセントとプレートが必要)	WTF19324WK		相当品
(コンセント)	WTF19324WK		
(プレート)	WTF7003W		

●屋内配線用電線

単線(直径)2.0mm以上、または、より線(直径)3.5² mm以上



重要

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの極接地用に配線してください)



重要

三相200V（動力）は使用しないでください。故障の原因となります。

漏電遮断器の設置



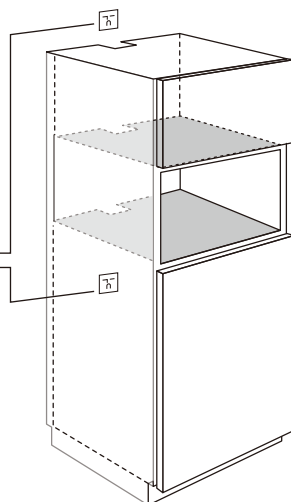
配線部の異常発熱防止や万一の安全のため、漏電遮断器を設置してください。

■推奨漏電遮断器（パナソニック）

品番	BJS 2031N (HBモジュール)
定格電流	20A
感度電流	30mA

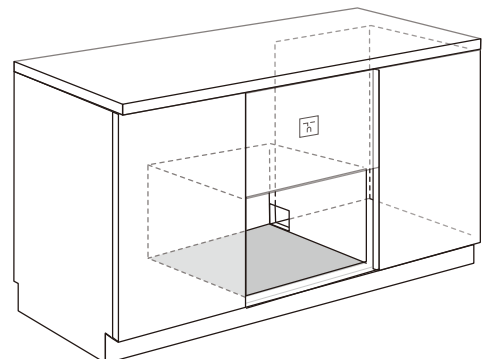
電源コンセントの位置

■トールユニットの場合 (アイレベル収納)



※ 電源コンセントは、ユニットの外、または、キャビネット内の手の届く場所に設けてください。

■アンダーカウンター／ウォールユニットの場合

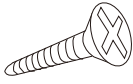
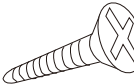
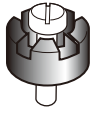
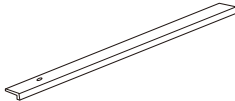



●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにコンセントの向きに注意してください。

●コンセントは必ず手の届くところに配置してください。機器の背面には配置しないでください。

2 同梱部材

同梱部材の確認

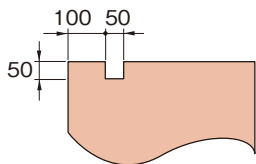
木枠固定用 サラネジ	本体固定用 サラネジ	本体脚	木枠	シリコングリース
				
(3×20mm) ×2本	右(3.5×25mm) ×2本 左(3.0×20mm) ×2本	×5本	1本	1本 No.5132001

3 収納キャビネットの加工

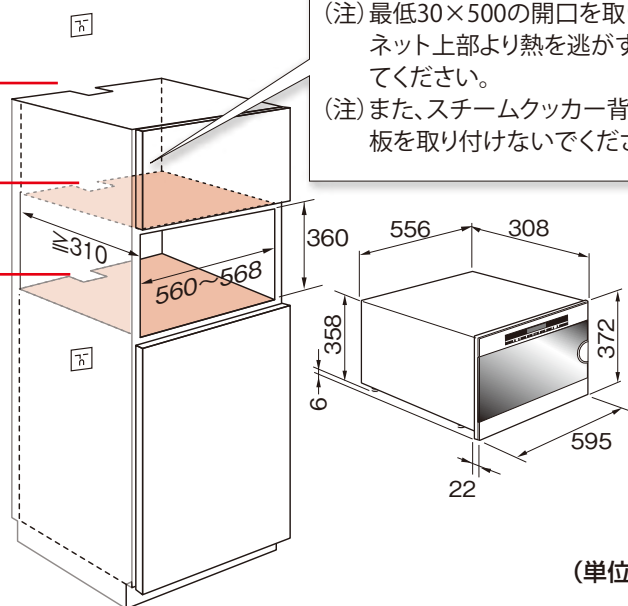
本製品は収納キャビネットに組み込んで使用する組込形スチームクッカーです。

■ トールユニットへの設置 (アイレベル収納)

■ 電源コード・プラグ通し穴の加工



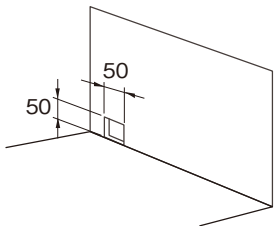
トールユニットへ設置の場合、脚を5本取り付けるため開口寸法高さがアンダーカウンター設置時より10mm高くなります。



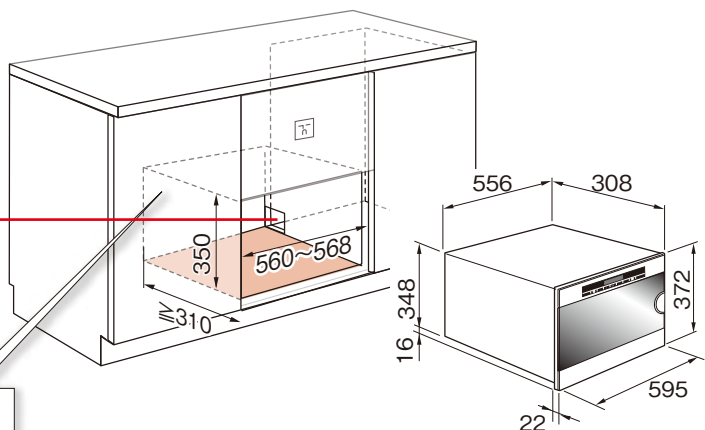
(単位: mm)

■ アンダーカウンター(ドア下合せ) / ウォールユニット(吊戸)への設置

■ 電源コード・プラグ通し穴の加工



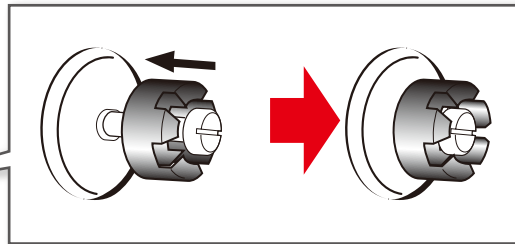
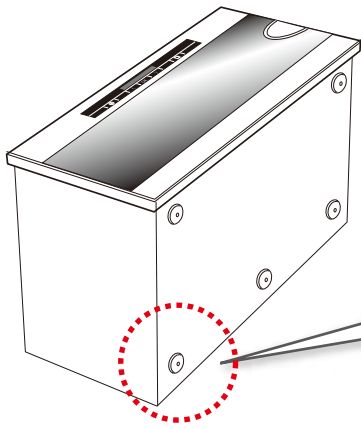
(注) スチームクッカー背面には背板を取り付けしないでください。



4 本体の組み込み作業

脚の固定

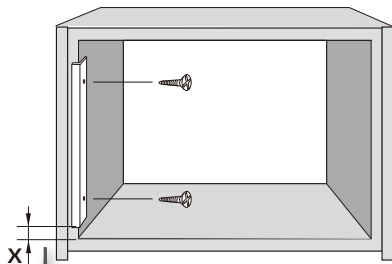
※マイナスドライバーが必要です。



- 開口寸法の高さが350mmの場合、脚なしでビルトインします。
- 開口寸法の高さが360mm以上ある場合、下図のように本体に同梱されている脚(5本)を設置前に取り付けてください。

本体の固定

※プラスドライバーが必要です。

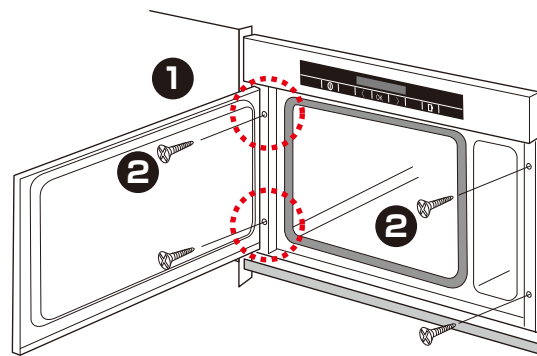


- 設置前に、キャビネットに2本のサラネジ(3×20)を使用して、木枠をキャビネット側板に取り付けます。

x寸法

ビルトインスペースの高さ350mmの場合 30±5mm

ビルトインスペースの高さ360mmの場合 40±5mm



- 1 まず木枠の左側固定穴(φ2.0mm)に印をつけ、錐(キリ)などで予備穴をあけておきます。
- 2 本体が手前に倒れてこないように、本体ドアを開いて、左(3.0×20mm)、右(3.5×20mm)それぞれ2カ所をキャビネット側板にネジ留めしてください。

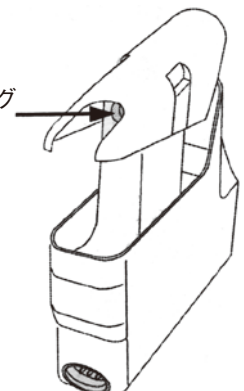
※②のネジ留めは、固く締めすぎるとドアが閉まりにくくなる場合があります。ご注意ください。

シリコングリースの使用方法

■定期的メンテナンス(カップリングシール)

- カップリングシールには定期的にシリコングリースの注油が必要です。貯水タンクが着脱しにくくなった時、またはエラーメッセージ「F20」が表示される場合、右図の部位にあるカップリングシールの内側に、同梱のシリコングリースを少量塗布してください。

カップリングシール



マーガリンや食用油、その他の家庭用グリースは絶対に使用しないでください。シールを傷める可能性があります。

5 オプション-引き出し(ESS 3360)を設置する場合

DG 3460 + ESS 3060の設置開口寸法

■トールユニットへのビルトインドローワーの設置 (アイレベル収納)

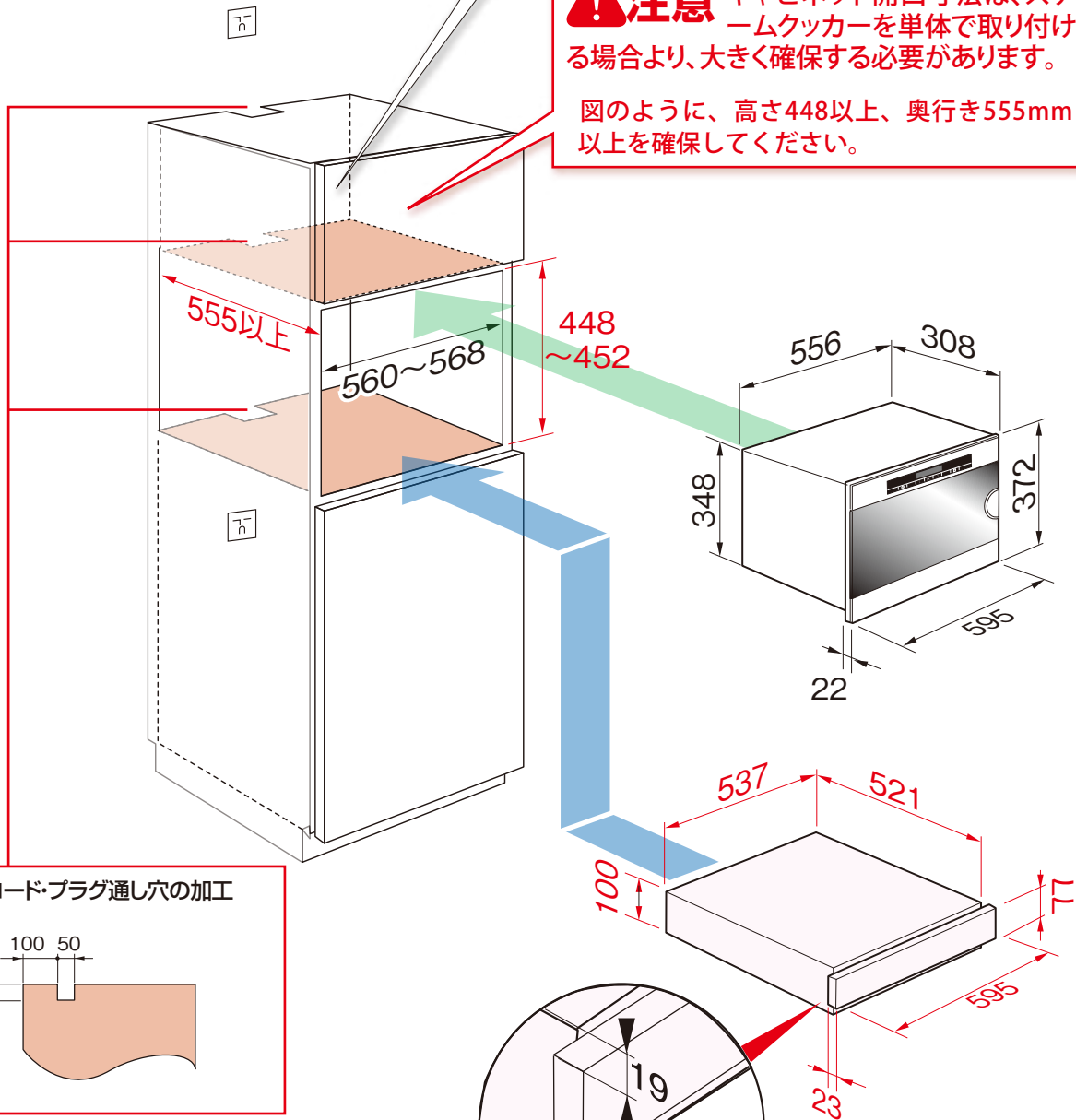
(単位: mm)

(注) 最低30×500の開口を取り、キャビネット上部より熱を逃がす構造としてください。

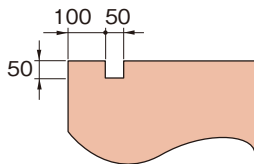
(注) また、スチームクッカー背面には背板を取り付けしないでください。

注意 キャビネット開口寸法は、スチームクッカーを単体で取り付けの場合より、大きく確保する必要があります。

図のように、高さ448以上、奥行き555mm以上を確保してください。



■電源コード・プラグ通し穴の加工



ビルトインドローワーと設置する場合は、脚なしでビルトインするため、組み込み部の高さは448~452mmになります。

ESS3060
(ビルトインドローワー)

FAX:045-465-0031

スチームクッカー 設置後のチェックリスト

●あらかじめ電源が入ることを確認してください。

お客様名	設置日
機種 DG	製造番号

点検	確認項目	チェック
外観	キズや汚れはないか。	
設置の安定・水平	水平に設置されているか。左右に傾きはないか。ビス4本でしっかり固定され、がたつきはないか	
ドアの開閉 タッチパネル	ドアがキャビネットと干渉しないか。 タッチパネル操作はスムーズに行えるか。	
給排気	じゅうぶん給排気できる場所へ設置したか。熱はこもらないか。 背板はついていないか。	
電源	単相200V 20A 専用回線か。アース線は接続したか。 漏電ブレーカーが設置されているか。	
試運転	試運転は異常なく終了したか。 最後に必ず電源スイッチが「オフ」になっていることを確認。	
試運転の手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 電源を入れる。(①センサーを押す。)→ディスプレイに表示が出る。 ② 貯水タンクに水道水を入れて、100℃で5分稼働させてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 注意 </div> 本体から大量の水蒸気が放出されるので、ご注意ください。 スイッチを切った後もしばらく高温状態が続きます。 ③ ディスプレイに「100℃」と表示され、「℃」が点滅 →「OK」センサーを押す。 ④ ディスプレイに3つのゼロが表示され、「h」が点滅 →「h」センサーを5回押して、「0.05h」に設定。「OK」センサーを押す。 ⑤ 自動的に運転が開始されます。 	
試運転の後は…	<ol style="list-style-type: none"> ① 設定した調理時間が終了すると、アラームが鳴り、ディスプレイに3つのゼロが表示され、「h」が点滅します。 ② 電源をオフにします。(①センサーを押す。)→ディスプレイが消える。 ③ しばらくの間、ファンが回転し続けますが、異常ではありません。 貯水タンクを取り出して、水を捨ててください。 庫内が冷えたら、付着した水滴を乾いたふきんで拭き取ってください。 	

※本機の通電ができず試運転が行えない場合は、後に通電が可能になった時に必ず試運転を行ってください。

確認者

※ご確認後、本ページをFAX:045-465-0031へ送信して下さい。